

金光学園「メタセコイアの会」会則

(名称及び事務局)
第1条 この会は、金光学園「メタセコイアの会」と称し、事務局を金光学園内に置く。

(目的)
第2条 この会は、金光学園の建学の精神に賛同する人たちが、学校運営について意見を出し合い、会費によって、厳しい状況下における学校経営に貢献するとともに、「金光学園教育振興協力基金」の活性化をはかることを目的とする。

(会員)
第3条 この会は、前条の目的に賛同し、金光学園教育を応援する会費納入者をもって会員とする。

(役員及び定数)
第4条 この会に、次の役員を置く。
会長 1名、副会長 若干名、幹事 若干名、監事 2名、事務局長 1名

(役員の選出)
第5条 役員は、会員の内から、総会において選出する。

(役員の任期)
第6条 役員は、任期は、3年とする。ただし、補欠の役員の任期は前任者の残任期間とする。
2 役員は、再任されることができる。
3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選出されるまでは、なお、その職務を行う。

(役員の仕事)
第7条 会長は、この会を代表し、会務を統括し、役員会及び総会を招集して、その議長となる。
2 副会長は、会長を補佐するとともに、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
3 幹事は、会務を分掌する。
4 監事は、会務の執行及び会計を監査し、これを役員会及び総会に報告する。
5 事務局長は、会の経理、会の記録及び事務並びに会員の掌握を担当する。

(役員会)
第8条 役員会は、会長、副会長、幹事、監事及び事務局長をもって構成する。
2 役員会においては、会の運営に関するすべての事項を審議し決定する。
3 役員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会)
第9条 総会は、必要に応じて会長が招集する。
2 総会が開催されない場合は、当該年度の活動報告及び会計報告は紙面をもって行うこととする。

(顧問)
第10条 顧問は、役員会の推薦に基づき、会長から委嘱を受けて就任し、この会の運営に関して会長の諮問に答えるものとする。

(運営及び年会費の額)
第11条 この会の運営に要する経費は、年会費をもって充てる。
年会費 10,000円

(年会費の使途)
第12条 年会費は、以下のそれぞれの目的により設立された「金光学園教育振興協力基金」に、役員会で決定した額を寄付し、その具体的な使途については学校と相談して決定する。
A 施設設備等充実基金 B 奨学基金
C クラブ活動助成基金

(会計年度)
第13条 この会の会計年度は、毎年4月1日から、翌年3月31日までとする。

(会則の変更)
第14条 会則を変更しようとするときは、役員会の議決を経て、総会で報告する。

(附 則) この会則は、平成20年11月8日から施行する。

メタセコイアの会

発行
「メタセコイアの会」
平成22年 7月12日

みんなで応援しよう!

小林 彬(高十八回卒)



金光学園は、今年創立百十六年を迎えました。この間、建学の精神に基づき、二万人を超える卒業生が国内外の各界で活躍するの姿、多くの有為な人材を世に輩出し、まさに岡山県内でも有数の歴史と伝統を誇る私立学校として認められていまふ。そして現在も、この歴史と伝統を礎

に、教職員の皆さんが一丸となり、生徒の皆さんと一緒に、素晴らしい学校を築いてきておられます。本年も国公立や主要私立大学に多数進学されたと同じく、また、近年取り組まれていた「探究授業」も徐々に成果を上げられ、様々な機会に研究発表を行い、高い評価を得ているとのことです。部活動も活発に行われており、ここ数年では男子バレー、陸上競技、卓球、剣道、囲碁将棋などの部は、中国大会や全国大会に出場し、優秀な成績を取っています。また、野球部も常に県上位の成績をおさめるようになり、音楽部コーラス・吹奏楽団も地域に密着した素晴らしい活動を行っていました。特に最近では国際交流にも力を入れておられ、

昨年十月には韓国でもトックラスの進学校である春川女子高等学校と姉妹校締結がなされ、また海外研修や留学生の受け入れにも積極的に取り組まれています。現在、県下の私学は、どの学校も財的にも生徒募集代を迎えていると伺っています。その様な中で百年以上の歴史を持つ金光学園は、目先にとらわれることなく、文武両面にわたる優れた教育活動を通して、建学の精神である「全人教育」を推進し、百年先も愛される学校を目指してほしいと願うものです。金光学園がより一層先進的な教育を行い、地域に貢献し、益々世のお役に立つ多くの人材を輩出してほしいとの願いを込めて、金光学園応援団としての「メタセコイアの会」が、一昨年十一月に発足されました。この会は、建学の精神に賛同する方々が学校運営に賛同して意見を出し合い、会費によって厳しい状況にある学校経営に少しでも貢献しようとするものであり、寄せられた年会費は、施設整備の充実や奨学金、部活動の

高 校 生 徒 会 長 仁 科 清
「メタセコイアの会」この存在を知ったのは、確かに昨年の二期期始業式の式辞で校長先生がお話しいただきました。その時の印象は、いろんな方が学園を支えてくださっているのだなあと感じたことです。そして、最近記念講堂の外部補修をしてくださったのが、このメタセコイアの会だとして、今になつて改めてこの会のことをもっと他の生徒にも知ってほしいなと思います。昨年は皆様のおかげで金光学園のシンボルともいえる記念講堂の外部補修をさせていただきました。

「メタセコイアの会」によって今まで不可能であったものが、少しずつ可能になり新しい道が開けてくるようになります。それはまるで金光学園の伝統が未来につながっていく道のようなのです。これら皆様方の温かいご支援のおかげです。これから、私達も応援していただき、私達もその応援に負けないよう、伝統を守り新しい金光学園を築いていきたいと思います。

「メタセコイアの会」にか特典を考えてはどうか。
○ 寄附事業の証しとして、記念講堂に表札を出してよいのではないか。(金光学園の教員として、そのような物は必要ではない、との意見も出された)
○ 高十八回の有志がボランティアで校内のペンキ塗りなどを行っている。せめてペンキ代だけでも応援できないか。
○ 思ったより入会者(寄附)が少ない。広く浅く声をかける方法はないか。
○ 年会費一万円は毎年となる。と厳しいという意見がある。広く浅くという点で会費の額を見直しても良いのではないか。
○ ある部の団体で同様の呼びかけをしているが、現役員がお礼の気持ちを、手紙に書いて出している。良い取り組みと思う。
○ 会費を見直すことには異議がないが、発足して間もないこの時期に会則を安易に変更するのは良くない。とりあえず、もう少し様子を見てどうか。
○ この会のあり方についてもう少し明確にする必要があるのではないか。
○ 来年度は役員改選の年である。そのための準備、打ち合わせが早急の必要ではないか。役員会または総会の持ち方について別途協議が必要。

「挨拶」
校長 佐藤 元信
メタセコイアの会の皆さまには平成二十年十一月の設立総会以来、心からのご支援を賜り有難うございます。益々お元気で活躍の事とお慶び申し上げます。皆さまには昨年、創立一五年の諸行事と講演会のご案内をさせていただきま



した。ビッグイベントは、フランス大使齋藤泰雄氏(高十九回卒)の創立百十五記念講演や金光学園教育研究大会における京都市長門川大作氏の講演などですが、どちらも会員の方が多く来校され喜んでくださいます。金光教立教一五〇年祭の教職員・生徒全員による音楽の演奏奉仕も大成功でした。

今年度の行事は、十一月二十日創立一六六記念式で山口赤十字病院の女医、國近尚美氏(高三十六回)の講演、また、十一月二十五日は第二回金光学園教育研

究大会を開催し、京都市立堀川高校の荒瀬克己校長を講師としてお招きしています。去る六月二十二日、メタセコイアの会の役員会が開かれ、主に、①会費の適正な額②厳正な監査のあり方③会費の使用目的と用途について活発な意見が出され、今後に生かされるべきものと思われました。昨年はご芳志を記念講堂のりリニューアルに使われていたいただきましたが、役員会では、今年も続いてその内装に使わせていただけることになり、今年こそ八月八日の同窓会総会が冷房の効

いた記念講堂で開催されるものと楽しみにしています。新学年の授業・諸行事は順調に進められ四月中の三中の沖繩修学旅行、五月のやつなみ保護者会総会の講演(金光教那覇教会長林雅信師)。五月末の中二の大佐山キャンブ・大山登山・六月の高二の修学旅行も無事終わりました。部活動は早くも活躍を始めて、陸上のやり投げ、少人数拳法、放送部が全国大会出場を決めています。この四月から公立高校の授業料無償化が行われ、私立高校生にも月額九、九〇〇円が支援されることにな

平成二十二年六月十二日、金光学園ほつま記念中ホールにおいて、今年度第一回の役員会が開かれた。山本会長、佐藤校長の挨拶に続いて、金光副校長より学園の近況報告がされた。その後は、協議に入った。主な内容は以下の通り。
①二十一年度会務報告・監査報告
②二十一年度会計報告・監査報告
③二十二年会務計画
④二十二年会計予算
⑤意見交換
協議の中で活発な意見交換がなされ、内容によっては継続審議となった。
《主な意見》
○ 二十二年の寄附事業については、二百万円を実施。(記念講堂の内部補修の方向で)
○ 監査と報告の方法を変えたい方が多い。
○ この会の存在があまり知られていない。広報の工夫が必要。
○ メタセコイアの会の名称が、この会の趣旨を表してなく分かりづらい。
○ この会は、少しでも金光学園のためにという気持ちで、継続していくことが大切。
○ 自分たちの学校は自分たちで守る。学校が無くなる時代。英知を集めて、ただのお金集めの会であってはいけない。
○ 現実、公立の場合自分の母校が無くなることもある。応援しようがない。学園は私立だから応援次第でどうでもなるのが義ましい。
○ この会の活動が母校にどのような貢献しているのかをもっと明確に表したほうがよいのではないか。
○ 入会して下さった方へな

「メタセコイアの会」によって今まで不可能であったものが、少しずつ可能になり新しい道が開けてくるようになります。それはまるで金光学園の伝統が未来につながっていく道のようなのです。これら皆様方の温かいご支援のおかげです。これから、私達も応援していただき、私達もその応援に負けないよう、伝統を守り新しい金光学園を築いていきたいと思います。

「メタセコイアの会」にか特典を考えてはどうか。
○ 寄附事業の証しとして、記念講堂に表札を出してよいのではないか。(金光学園の教員として、そのような物は必要ではない、との意見も出された)
○ 高十八回の有志がボランティアで校内のペンキ塗りなどを行っている。せめてペンキ代だけでも応援できないか。
○ 思ったより入会者(寄附)が少ない。広く浅く声をかける方法はないか。
○ 年会費一万円は毎年となる。と厳しいという意見がある。広く浅くという点で会費の額を見直しても良いのではないか。
○ ある部の団体で同様の呼びかけをしているが、現役員がお礼の気持ちを、手紙に書いて出している。良い取り組みと思う。
○ 会費を見直すことには異議がないが、発足して間もないこの時期に会則を安易に変更するのは良くない。とりあえず、もう少し様子を見てどうか。
○ この会のあり方についてもう少し明確にする必要があるのではないか。
○ 来年度は役員改選の年である。そのための準備、打ち合わせが早急の必要ではないか。役員会または総会の持ち方について別途協議が必要。



ありがとうございます 伝統を守り新しい学園を築きたい



平成21年度メタセコイアの会 会員名簿 (H21.4.1～H22.3.31入会者)											
No	ご芳名	卒業期等	No	ご芳名	卒業期等	No	ご芳名	卒業期等	No	ご芳名	卒業期等
1	久戸瀬善平	旧33回	45	坂本美代子	高08回	89	高木 毅	高18回	133	西山 徳治	高35回
2	金光 護佑	旧37回	46	瀬良田信雄	高08回	90	高橋 淑子	高18回	134	武 浩太郎	高36回
3	西井 大八	旧39回	47	田中 啓吾	高08回	91	大野 豊	高19回	135	占部 守弘	高37回
4	坂本 市松	旧40回	48	寺崎 淑子	高08回	92	大橋 恒康	高19回	136	佐藤 元子	高37回
5	渡辺 信平	旧41回	49	中桐 恒和	高08回	93	小宮ちず子	高19回	137	花咲 宏基	高37回
6	赤堀 晋	旧42回	50	三宅 文男	高08回	94	金光 世一	高19回	138	山本 晶弘	高39回
7	金光佳賀雄	旧42回	51	浅桐 祥子	高09回	95	坂本 真一	高19回	139	八方 良久	高40回
8	杉田 満正	旧45回	52	岡辺 勝恵	高09回	96	高見 太平	高19回	140	上山 悦代	高44回
9	石部 元雄	旧48回	53	貝原伊真代	高09回	97	赤澤 光政	高20回	141	大島 納美	高49回
10	中桐 眞彦	旧49回	54	笠原 金剛	高09回	98	加古 涼子	高20回	142	山口 佳苗	高51回
11	三宅 龍造	旧49回	55	佐藤 泰之	高09回	99	佐藤 正俊	高20回	143	小倉 千明	高52回
12	渡辺 忠義	旧49回	56	永広 徹	高09回	100	白神 敏明	高20回	144	中村 徳秀	高52回
13	永原 利樹	高02回	57	藤澤 桂子	高09回	101	隅田 潤	高20回	145	大島 慶也	高53回
14	村上 昇	高02回	58	横山 晃児	高09回	102	高20回卒同期会	高20回	146	稲垣美沙子	高54回
15	廣常 人世	高04回	59	奥島 弘子	高10回	103	岩藤 知義	高21回	147	松田 洋一	高57回
16	横山鹿之助	高04回	60	石岡 禎子	高11回	104	山本 雅夫	高21回	148	兼森 奈央	高60回
17	小野 昇	高05回	61	大西 恒夫	高11回	105	渡邊 直人	高21回	149	松浦 大則	高60回
18	小野 博志	高05回	62	葛間 紘介	高11回	106	原田由紀雄	高22回	150	横山 隆志	高60回
19	中野 茂雄	高05回	63	森本 計一	高11回	107	金光 道晴	高23回	151	平林 久周	高61回
20	西山 進	高05回	64	松木久仁雄	高12回	108	横山 伸二	高23回	152	友國 洋	中12回
21	西山 豊	高05回	65	徳永 健治	高13回	109	金邊 卓資	高24回	153	大田喜美江	元教職員
22	池野 英治	高06回	66	中桐 尙	高13回	110	佐藤 浩	高24回	154	加賀 道郎	元教職員
23	小野 泰子	高06回	67	仁科 琢丞	高13回	111	仁科 文秀	高24回	155	二宮 重雄	元教職員
24	茅原喜久子	高06回	68	小川 賢治	高14回	112	萩原 邦章	高24回	156	森田 至	元教職員
25	黒田 泰子	高06回	69	高田 和子	高14回	113	山下 一仁	高25回	157	森松 秀人	元教職員
26	香西 真也	高06回	70	森本理代子	高14回	114	小倉由紀夫	高25回	158	北浦 信夫	元P T A役員
27	佐藤 元信	高06回	71	山本 俊夫	高14回	115	横谷 朝久	高25回	159	中務祺九大	元P T A役員
28	田中 英子	高06回	72	高橋 明通	高15回	116	稲垣 登稔	高26回	160	西村 啓二	元P T A役員
29	津村 親幸	高06回	73	若狭 正吾	高15回	117	片山 節子	高26回	161	小林晋太郎	元P T A役員
30	中塚 恭一	高06回	74	明渡 邦樹	高16回	118	伏見 浩子	高26回	162	昼田 哲士	元P T A役員
31	平野 尚哉	高06回	75	勝田 正純	高16回	119	守永 一彦	高26回	163	平林 実	野球部後援会長
32	藤田 弘子	高06回	76	柴田満僖子	高16回	120	門田 一宣	高26回	164	安部孝次郎	金光教関係
33	間野 暎子	高06回	77	高木 治雄	高16回	121	稲垣 瑞恵	高27回	165	岩本 徳雄	金光教関係
34	村上 裕美	高06回	78	釣場真紀子	高16回	122	小林 重行	高27回	166	金光教阿知教会	金光教関係
35	安田 之彦	高06回	79	岡本 博範	高17回	123	大枝 裕政	高28回	167	角南 昭範	金光教関係
36	山上 和江	高06回	80	兼信 英雄	高17回	124	長鋪 方隆	高28回	168	津田謙二郎	金光教関係
37	浅野 真	高07回	81	佐藤 晴正	高17回	125	仁井名 太	高28回	169	本田 治道	金光教関係
38	岡辺 賢二	高07回	82	中藤 清	高17回	126	田淵美賀雄	高29回	170	森山 修	金光教関係
39	清水 芳明	高07回	83	平田 襄二	高17回	127	中野 元雄	高30回	171	芳野 正人	金光教関係
40	花房 泰志	高07回	84	福田 英雄	高17回	128	臂 吉浩	高31回	172	金光教総社教会	金光教関係
41	古澤 好美	高07回	85	大嶋美登子	高18回	129	河田裕二郎	高32回	173	安達 恭也	教職員
42	若狭 孝史	高07回	86	岡辺 又一	高18回	130	佐藤 浩一	高32回	174	神田 繁雄	教職員
43	白井正一郎	高08回	87	小林 彬二	高18回	131	広常 真治	高32回	175	坂口 務	教職員
44	岡田 信夫	高08回	88	定金 晃三	高18回	132	市川 敏幸	高33回	176	渡辺 智	教職員

金光学園教育の応援団「メタセコイアの会」

入会の御礼とお誘い

皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
「メタセコイアの会」設立以来、皆様方には一方ならぬご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。
別項に掲載させていただいています通り、20年度には252名の方が、21年度には176名の方がご入会くださり、昨年8月には、金光学園の象徴である記念講堂の外部補修が実現いたしました。このことはまことにありがたいことと、厚く御礼申し上げます。
さて、子どもを取り巻く環境は年々難しい時代を迎え、益々学校教育の大切さが問われる昨今であります。その様な中で、金光学園では、勉学は勿論のこと、部活動や諸行事にも一生懸命取り組むなど「欲深教育（文武両道）」を通して、建学の精神である、学・徳・体、一本の全人教育がなされ、いつの時代も常に先進的な教育を持って地域に社会に貢献し、世のお役に立つ人材を輩出してくださっており、このことは誠に喜ばしいことであり、今後も続けていただきたく願うものです。



メタセコイアの会 会長 山本 雅夫

しかし、一方私学がおかれている状況は非常に厳しいと伺っております。少子化は、県内中学3年生の平成元年と平成21年度の人数を比べると、13,500名近い減少であり、これは大規模高校が10校以上消滅する数ですし、私学助成は、国と県の財政状況から減額の方針が出されています。また、公立の中高一貫校新設により私学の生徒募集が非常に困難になり、公立高校の授業料無償化により公私の保護者負担の格差が広がっているのも事実です。
以上のようなことから、金光学園ほつま同窓会、やつなみ保護者会、金光教関係、現・旧教職員、さらには地域企業・団体や個人の方々にも広くお声をかけさせていただき、一人でも多くの方のご賛同とご支援を賜り、今年も「メタセコイアの会」にご入会いただくことで、金光学園の応援団の一人になってくださいますよう、よろしく願いたします。

平成21年度会務・会計報告

【会務報告】

- 6/6 第1回役員会 13名出席
- 7/11 「メタセコイアの会」会報発行(17,000部発行)
- 7/13 会報発送・会員募集開始(同窓会会報に同封約15,000部)
- 8/中旬 「メタセコイアの会」の寄付事業「記念講堂補修工事」完了
- 11/14 第2回役員会 13名出席
- 12/14 「記念講堂補修記念絵葉書」完成

【会計報告】

(1) 収入の部 (単位：円)

科目	金額	摘要
1. 会費	2,096,600	前年度より繰越
	2,249,350	H21年度会員数176名
2. 雑費	893	受取利子
合計	4,346,843	

(2) 支出の部 (単位：円)

科目	金額	摘要
1. 印刷費	205,050	会報誌、記念講堂絵葉書(36,750円)
2. 会議費	5,304	役員会等
3. 通信費	58,370	切手代等
4. 雑費	770	振込手数料
5. 寄付金	1,910,000	記念講堂改修費
合計	2,179,494	

平成22年度会計予算

(1) 収入の部 (単位：円)

科目	金額	H21年度決算比	摘要
1. 会費	2,167,349	70.749	前年度より繰越
	2,000,000	△249,350	H22年度会員数200名
2. 雑費	800	△93	受取利子
合計	4,168,149	△178,694	

(2) 支出の部 (単位：円)

科目	金額	H21年度決算比	摘要
1. 印刷費	200,000	△5.050	会報誌(1,800部)
2. 会議費	10,000	4.696	役員会等
3. 通信費	60,000	1.630	切手代等
4. 雑費	1,000	230	振込手数料
5. 寄付金	2,000,000	90,000	
6. 予備金	1,897,149	△270,200	
合計	4,168,149	△178,694	

〇〇〇〇入会手続きについて〇〇〇〇

- ご賛同いただける方は、振込用紙にて年会費（10,000円）の振り込みをお願いいたします。
 - 入会された方には、後日会員名簿や会計報告などの他、各種行事・講演会等のご案内をさせていただきます。
 - 頂戴する会費は「入金金」ではなく「年会費」です。H20・21年度の会員の方も、今年度もお振込み下さいますようお願いいたします。
 - 法人として、従来からお願いたしております「金光学園教育振興基金」に全額損金扱いの「指定寄付」をお考えいただける場合は、下記までご連絡をお願いいたします。なお、こちらにご寄附いただいた場合も「メタセコイアの会」の協賛者として登録し、会員とさせていただきます。
- 【連絡先】学校法人金光学園「指定寄附金」係
Tel 0865-42-3131 Fax 0865-42-4787

皆さまの応援により記念講堂が美しくなりました

昨年8月、「メタセコイアの会」からの寄附により、記念講堂の外装を補修いたしました。具体的には、窓、ドアは新しくし、外壁は塗装し直しました。



将来的には金光学園の記念館として

記念講堂は、学園の校舎が木綿崎山下（現金光教本部境内）にあった、明治37年に竣工した。会津若松出身の江川三郎八の設計で、格天井の様式を持つ、総検造りの見事な建築であり、学園のもっとも重要な建物である。旧制中学時代、心の道場として懐かしい思い出を持つ先輩方からも強い要望があり、さらに学園伝統のシンボルとして、心の教育に役立つという考えから、昭和31年現在の地に移築された。金光学園建学の精神を永久に伝える記念の建物として、現在でも大切に使用されているが、年月の風雪には勝てず、今までも何度か補修されてきました。将来は、記念館として学園の歴史に関わる記念品を展示すると共に、同窓会や保護者会、生徒の会議等にも使用できる施設にしたいとの願いを抱いている。



近々、内装の補修・整備を

各方面のご理解とご協力を得て、近々内装の補修・整備に着手する予定です。どうぞ、皆様応援をよろしく願いたします。

今も現役です
小体育館



この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。
また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。